

新宮山彦ぐるーぷ第2201回

台風14、15号通過後の行仙宿点検整備

◇実施日 9月25日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、湯川一郎、濱野兼吉、大江加予子・徳子、

畑林清子、高階鈴子、児嶋道夫、梶野照雄、志岐敬

10名

9月には6つの台風が発生したが、大峰への直撃が無かったのは幸いである。3連休が2回あったが、各小屋の宿泊予約はすべてキャンセルになってしまった。台風の直撃は無かったとはいえ、降雨量も多く、風もそれなりに強かったため、尾根筋に建つ小屋や奥駆道の状態が心配な日が続いていた。



ザックと荷揚げ品倒木、



ノコで切除



小枝を除去

9月25日は何とか晴れそうなので、皆さんに呼びかけて10名で行仙宿の点検整備に向かった。児嶋さんは早めに出て登山口のモノレール屋根の工事を行うと連絡があった。

午前9時前、登山口に全員が集合。児嶋さんは工事資材や工具の一部を忘れてきたので、今日の屋根工事は中止し、モノレールのエンジンオイルとギアオイルを交換したそうだ。

ガソリン缶を2缶や木杭40本ほどを積込みモノレール終点に運ぶ。各々が手分けして背負子につけたりザックに入れたりして、一回で全てを行仙宿まで運ぶことが出来た。



行仙宿に着く



水場の点検



額を掲げる

第2ベンチで休憩を取り中の碓まで来ると直径35cmのカエデが倒れて道を塞いでいた。先着の皆さんが処理をどうするか協議中だったが、チェーンソーが必要なので小屋まで行って午後に作業することになった。補給路には枯枝多数、10cm程度の倒木も2本あったがノコで切除した。

行仙宿に着いて、梶野、濱野の2名は水場の点検に。志岐、湯川の2名はブロワーとホウキで小屋周りの枯枝などを除去する。

児嶋、沖崎は先日从不調の発電機を一部分解して修理する。

女性陣はお堂やトイレの清掃など、と皆さん自分の分担は心得ている。小屋周りの掃除を終えた志岐、湯川の二人はポリタンクを背に水汲みに水場へ向かった。水場は水量豊富だったが、1m位の枯枝が落下して、しめ縄が切れていた。

台風の影響を心配していたが、小屋周辺の奥駈道や水場に目立つた異常は無く一安心した。

お昼前になり昼食を摂る。食後は今日も児嶋さんが真っ先に動き出し外に出て何か作業を始めた。それにつられて皆さんも始動を始める。



倒木の切除



枝を整理



補給路の清掃

青木君が寄贈してくれた日本手ぬぐいを、梶野君が修理した額に納めて西側ドアの上に掲げた。この日本手ぬぐいを先日からお世話に

なっている方々や御寄附を頂いた方々に少しずつ送付しているが、お送りした方々から大変喜ばれている。

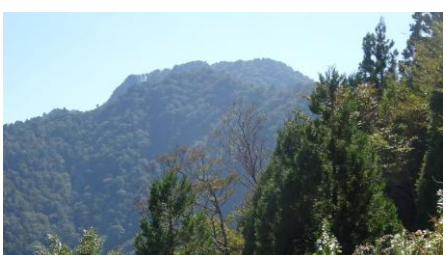
児嶋さんは発電機の修理に悪戦苦闘、始動してヤレヤレと思い一旦止めると今度は始動せず、を繰り返す。一度降ろして専門業者に頼むか、どうしたものかと頭が痛い。

男性陣6名で中の碓の倒木現場に向かう。小屋からチェーンソーを持ってきた梶野君が3ヶ所を切断したが、撤去方法で少々もめる。かなりの重さがあるので動かし方によっては大げかの可能性もあり、作業に関わる全員が手順を共有することが重要になる。

慎重にゆっくりと移動させて谷側に落とし、補給路を確保することが出来た。児嶋さんが谷側に石を並べて、ジョレンや熊手で道を均しくれて、倒木の処理は完了した。再び小屋に戻って本日の点検、整備は終了、戸締りをして下山した。



ポリタンクを整理



笠捨山



本日の参加者

志納箱を確認すると椎木さんの志があった。お一人で吉野から本宮までの逆峯を実行されたようだ。

翌日の夕方、拙宅にひよつこりと椎木さんが現れた。「雨が多くて大変でした。無事に完歩したが、もうそろそろ限界かな」と話された。お話では奥駆道に倒木は無く、全く通常の状態だったそうだ。玉置神社の宿泊が出来ないので、行仙宿から本宮までを昨日一日で歩いたそうだ。ご苦労様でした。

(記・沖崎)

行動タイム

補給路登山口 09:08→10:15 行仙宿→10:50 水場→11:40 行仙宿
↓12:50 倒木現場 13:20→13:26 行仙宿 13:52→14:30 補給路
登山口